

2 民主的手続きで決めた 敷根民有地案

① 現実的で妥当な土地

新庁舎建設の候補地について、中心市街地から近距離に位置する10か所以上の土地を抽出し、①法規制 ②アクセス性・利便性 ③災害対策 防災拠点としての安全性 ④津波避難対策 ⑤経済性（イニシャルコスト） ⑥有利な起債の適用 ⑦早期着手の可否 ⑧経済的波及効果 ⑨総合評価等の項目で比較検討を重ねた結果、敷根民有地が現状において考えられる最も妥当な案と判断したものです。

財政基盤が脆弱な下田市にとって、新庁舎建設事業費は重要な問題です。身の丈に合った事業費の検討が求められる中、提示した概算工事費22億5千万円は現段階において工夫し圧縮した金額ですが、基本計画や基本設計、実施設計の段階で精査吟味し、更に縮減できる可能性があります。庁舎は単独財源による建設が原則ですが、緊急防災・減災事業債等の活用で約10億円が交付税措置されます。この

有利な起債は時限の制度ですが、この機を逃すことは大きな財政損失となります。単独財源による庁舎建設は極めて困難な財政状況であり、有利な財政措置が期待できる現在、新庁舎建設に向けた緊急な対応が必要となります。

② 敷根民有地の優位性
いくつかの候補地を比較した中で、敷根民有地の優位性についてはこれまでも繰り返し説明してきました。

- ・ 中心市街地や伊豆急下田駅に比較的近く、一定の面積を確保できること。
- ・ 津波浸水想定区域外であるため財政的に有利な起債が適用できること。
- ・ 土砂災害警戒区域から外れており、警戒区域相当の対応にも比較的軽微な事業費で見込めること。
- ・ 市道敷根線を利用することにより、伊豆急下田駅や中心市街地から徒歩圏内に位置し、交通弱者にも対応が可能なこと。
- ・ 伊豆縦貫自動車道（仮）敷



敷根民有地案における庁舎イメージ図
※今後、優位な一案として、新たな案も含め再検討します

伊豆縦貫自動車道

3 案を含む位置図



根インターに近接し、新たなまちの玄関口として重要な位置を占め、発展性が見込めること。
大規模造成や道路整備等が不要であり、敷根公園、現在地、伊豆急下田駅合築の3案と比較して事業費が縮減できること。
これらの観点から、ベストではありませんが現在考えられる最も妥当な位置であると判断し、平成26年6月の市議会全員協議会で公表しました。

③ 市民合意への取組
敷根地内の民有地を候補地に決定したことについて、市民合意を得るための説明が不足している等の様々な指摘をいただきました。
その後、市民説明会の開催やパブリック・コメントによるご意見募集、市政懇話会（市内15会場）における説明、各種団体等に対する個別対応など、約1年半の時間をかけて説明の機会を持たせていただきました。

④ 今後の対応
平成27年12月市議会定例会に提出した「下田市役所の位置に関する条例の一部を改正する条例の制定について」の

議案は、地方自治法第4条第2項の規定により特別多数議決案件で、出席議員13名の3分の2以上の賛成が必要でしたが、賛成7、反対6で否決されました。
しかし、災害対応、後年度負担の軽減、庁舎建設を先延ばしすることによる二重投資の防止等の現実的な観点から、新庁舎の早期建設は避けることのできない緊急課題であると認識しております。
新庁舎建設が大きく遅れる場合にあつては、防災拠点、災害時の司令塔としての最低限の機能確保のために、二重投資となりますが現庁舎への非常用自家発電設備の整備や可能な範囲内での耐震補強も視野に入れる必要があると考えています。

新庁舎の未来

新庁舎建設につきましては、これまで、庁内検討や議会での議論、市民理解を求めめるための説明会の開催やアンケートの実施、パブリック・コメントによる意見募集、さらに市政懇話会の開催や各種団体等との個別の意見交換など、様々な経緯をたどり現在に至っております。
市役所庁舎は、市民生活の中心的な役割を果たし、市政全般にわたる行政の拠点であり、防災拠点としても重要な責務を負っております。
静岡県下で唯一耐震化されていない庁舎であることを直視し、静岡県下田総合庁舎機能の移転との連動も視野に入しながら、効率的で機能的な市民サービス提供の軸軸施設として、また、地方分権社会における市民と行政との協働の場、新たなまちづくりの場として、新庁舎の建設を急ぐ必要があります。
12月市議会定例会における市役所の位置に関する条例改正は否決されましたが、一日も早く新庁舎を建設する必要があります。
位置に関しては柔軟な考え方をもち取り組み、防災・教育・医療・福祉等「暮らし人も訪れる人も快適なまち『快国』下田をめざしたまちづくり」を推進し、市民と行政との新しい「絆」につなげていきたいと考えておりますので、ご理解とご協力のほどよろしくお願い申し上げます。